

北の地に、台湾、琉球、日本、韓国
の芸能が跋扈する！

東アジアの響き合う歌声



作曲・構成：河崎純

ジー・ミナ [歌] エリ・リャオ [歌] チェ・ジェチョル [韓国打楽器] 吉松章 [舞・謡] 坪井聡志 [歌]

小沢あき [ギター] 河崎純 [コントラバス] 三浦宏予 [ダンス] 亞弥 [舞踏]

2022年12月3日 [土] 18:30開場 19:00開演 もりおか町家物語館 浜藤ホール

主催・制作：音楽詩劇研究所 協賛：祥エステートオフィス株式会社 タタミスタジオ 協力：Bishop Records

東京・埼玉で初演した音楽詩劇研究所の2022年新作ユーラシアンオペラ『A Night The Sky was Full of Crazy Stars』のコンサート版が盛岡に!

韓国から伝統音楽の歌手ジー・ミナを招き、「春香伝」など韓国の物語をもとにつくられる演劇的なコンサート。たった数行の詩を10分以上かけて歌う「正歌」の歌唱法で、古い説話の登場人物たちや民衆の魂を現代に蘇らせる。

さらに本作では、台湾原住民の民謡を歌う歌手エリ・リャオ、韓国太鼓で東北をはじめ日本各地の郷土芸能とアジアの芸能をつなぐ在日コリアン三世のチェ・ジェチョル、現代的に能や狂言を表現する吉松章をフィーチャー。「東の地中海」とも呼ばれる東シナ海周辺の知られざる文化交流を、音楽・舞踊を通じて再構成する。

ジー・ミナ 歌

韓国国歌「正歌」の歌手。国家無形文化財第30号歌曲履修者。「新進国楽実験ステージ」においてソロリサイタル『池に落ちる小石』（自身の漢字名が由来）でデビュー。ソウル市国楽発展総合計画「北村楽楽」（北村昌宇劇場）に参加。音楽祭、ソウルミュージックウィークなどに出演。伝統音楽と現代音楽を往来し、ユニット「モダン歌曲」を結成。音楽詩劇研究所の韓国公演「さんしょうだゆう in コリア」（2019）に参加。河崎純のCD「HOMELANDS」（2022）では、さまざまな韓国のフォークロアの声を新たな解釈で現代に蘇らせた。



エリ・リャオ 歌

幼少時から自身のルーツである台湾原住民族タイヤル族の音楽や踊りに親しむ。東京大学大学院在学中、ジャズに関心を持ちニューヨークへ。文芸創作とジャズを学ぶ。祖母の死をきっかけに本格的に音楽創作に取り組み、現地ミュージシャンとセッションを重ねる中、Billy Harper (ts) ボーカルプロジェクトメンバーに抜擢され、シンガーとして活動開始。ジャズ、台湾原住民音楽など、古今東西、言語やジャンルを超えて揺さぶる“うた”の世界を歌い続けている。2022年より音楽詩劇研究所に参加。



チェ・ジェチョル

韓国太鼓・唄

在日コリアン三世。五穀豊穡を祈る韓国の民俗芸能「農楽」の囃子を基に、伝統音楽と現代音楽の垣根を越えてさまざまな音楽シーンで活動中。多民族芸能楽団「わたら」「クヌゲンチェライ」に所属。2009年より、日本と韓国の文化にふれる歩き旅「Chango Walk」を始める。東京～韓国、富士山詣、三陸沿岸、佐渡ヶ島一周など、これまで延べ2500kmの道のりを叩き歩いた。三陸国際芸術祭、天籟能の会（国立能楽堂）、音楽詩劇研究所「さんしょうだゆう」への出演のほか、国内外で音楽活動を行う。



河崎純

作曲・構成・コントラバス

1975年生まれ。音楽詩劇研究所を主宰し、ユーラシアンオペラプロジェクトを行う。演劇、ダンス、音楽劇、実験的パフォーマンスを中心に、これまで100作以上の舞台作品で音楽監督、作曲、演奏を手がける。委嘱作品の作曲のほか、主宰、参加アンサンブルも多数。2022年には、韓国の伝統音楽歌手、ロシアの歌手を起用したCD「ユーラシアン・ポエティック・ドラマシリーズ」の2作、著書「ユーラシアン・歌——異郷と原郷の旅」を発表。



吉松章 舞・謡

リチャード・エマートに喜多流の謡と舞を師事。能楽の謡や舞を現代的に解釈し舞台化しており、創作能に「パタヤの売春婦」「マッチ売りの少女」「浦嶋太郎」「疫病神」「四谷マリア」がある。現在、「温羅」を執筆中。



坪井聡志 歌

アルト、テノールによる繊細な歌唱表現を得意とする。パフォーマンスを文芸評論家の青木純一に師事。共著に「アート・ライフ・社会学——エンパワーするアートベース・リサーチ」（岡原正幸編、晃洋書房）がある。



小沢あき ギター

ギターを通して世界の音楽をハイブリッドに追求。ロシア・アウトカーストの唄を歌い続ける石橋幸や上々颯風の西川郷子ら、多くのボーカリストから厚く信頼されている。ソロではオリジナル曲のほか、スペインやアルメニアの民謡を独自の解釈で演奏している。



三浦宏予 ダンス

ダンサー、女優。シャーマニズムやアニミズムの延長線上にダンスや演劇をとらえ、ジャンルを横断した活動を展開。2001年より故郷の岩手県遠野市に伝わる早池峰神楽を研鑽。演劇、ダンス作品に出演するほか、独舞公演、振り付けも行う。



亞弥 舞踏

舞踏家。近年の代表作に島尾敏雄原作「死の棘」、独舞作品「raziko」がある。古民家を改装したフリースペース「楽道庵」（東京・神田）で、踊り・動き・音にまつわるワークショップや企画をプロデュースしている。



音楽詩劇研究所

代表の河崎純作曲・演出による公演やワークショップなど東京を中心に活動を行う。日本や世界各地の芸能やフォークロアを巡りつつ、民族儀礼や宗教、古典音楽のいずれの手法にもよらない独自の合唱システムを用いた音楽劇は、スペインのガルシア・ロルカの創作や、ガルシア・マルケスなど現代の中南米のラテンアメリカアートの伝統にもつながり、〈アジア版マジックリアリズム〉とも評されている。

Facebook: MPDLab Twitter: @MPDLab Instagram: @mpdlab

入場料

前売 3,000円 当日 3,500円

*10歳未満のお客様は保護者同伴でもご入場いただけません。

市内プレイガイド（もりおか町家物語館、カワトク、プラザおでっ）にて10月8日より発売開始

ご予約

予約サイト RESERVA

<https://reserva.be/eop2018>



お問い合わせ

音楽詩劇研究所盛岡支部

〒020-0816 岩手県盛岡市中野1-10-34
onyk@gamma.ocn.ne.jp

音楽詩劇研究所

info@musicpoeticdrama.com

<https://musicpoeticdrama.com>

会場

もりおか町家物語館 浜藤ホール

盛岡市鉤屋町10番8号 TEL: 019-654-2911
<http://machiya.iwate-arts.jp>

【バスでお越しの場合】

- 盛岡駅バス乗り場13番より、矢巾営業所行き乗車「南大通二丁目」降車、徒歩7分
- 盛岡駅バス乗り場5番より、盛南ループ「200」菜園先回り（右回り）「南大通二丁目」降車、徒歩7分

【車でお越しの場合】

- 盛岡南I.Cから20分（盛岡方面▶国道4号線左折▶南大橋左折▶ユニバース鉤屋町店右折）
- 盛岡I.Cから30分（盛岡方面▶西バイパス北口右折▶直進▶国道4号線左折▶南大橋左折▶ユニバース鉤屋町店右折）
- 盛岡駅から15分
- 盛岡バスセンターから5分

